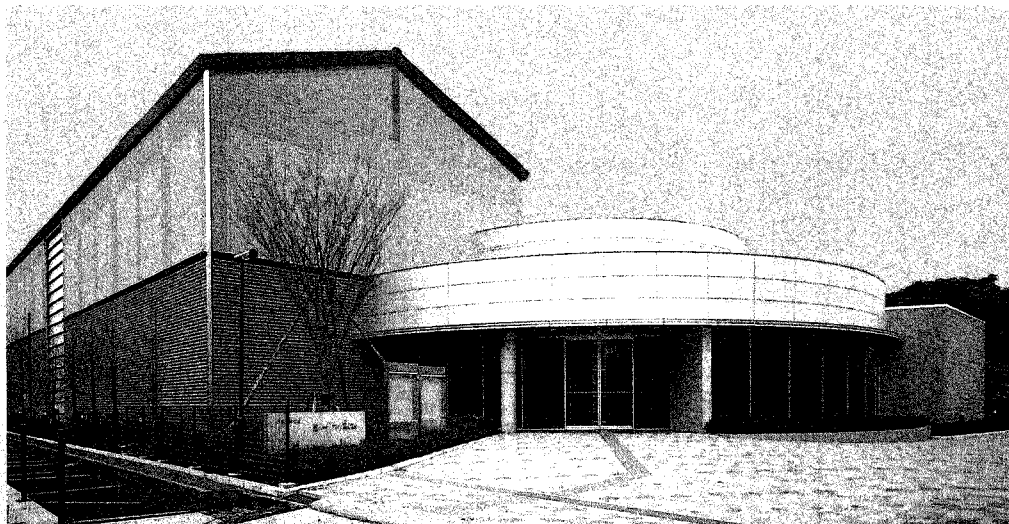


# ミュージアム都留オープン



都留市は、古くから城下町として栄え、東部地域の政治・経済、文化の中心として発展してきました。特に江戸後期には谷村藩主秋元氏三代の治水殖産事業によって灌漑・産業用水が確保され、織物業が興って郡内絹をはじめとする絹織物の産地となり、徳川幕府への献上品として扱われる程の名声を得ました。

また、元禄時代の天和三年（1683）には、江戸の大火で庵を焼かれた松尾芭蕉が国家老の高山傳右衛門繁文に招かれて谷村藩に約半年間滞在して名句を残すなど、本市は俳諧とのかかわりの深い土地となりました。

江戸時代中期には天領となりましたが、藩政時代を偲ぶ八朔祭りには、大名行列や日本を代表する浮世絵師葛飾北斎・鳥文斎藤原栄之などによって下絵が描かれた豪華絢爛たる飾幕の屋台が巡行するなど、都留市にはすばらしい歴史と文化遺産があります。こうした、都留市の歴史ある姿を具体的な資料とマルチメディアを駆使して分かりやすく展示し、市民自らが郷土に誇りを持って連帯感を培う場として「ミュージアム都留」を開設しました。

今後「ミュージアム都留」を拠点に市内に点在する寺社などの歴史的建造物や、都留市商家資料館、増田誠美術館、尾県郷土資料館、いきものふれあいの里などの各施設との連携を図り、市内全域を「まるごとミュージアム」構想として推進して行きます。

## ミュージアム都留

### 利用案内

開館時間	午前9時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)
休館日	毎週月曜日 祝祭日の翌日 毎月第3火曜日
入館料	特別展
	一般 600円(420円)
	高・大学生 400円(280円)
	小・中学生 200円(140円)
	常設展・企画展
	一般 300円(210円)
	高・大学生 200円(140円)
	小・中学生 100円(70円)
	※( )内は20名以上の団体料金です
お願い	・他の人に迷惑にならないよう静かに観覧してください ・展示品には手を触れないでください ・館内では万年筆、毛筆、サインペンなどの使用は禁止します。 ・許可なく写真・VTR撮影はご遠慮ください ・携帯電話の使用はご遠慮ください
所在地	〒402-0053 都留市上谷1-5-1 ☎(45)8008、8608